

「専門職後見人等の職務」×「介護保険・介護サービス」がわかる！

「安心して最期まで自分らしく生活できる」ための支援とは！



専門職後見人等が知っておくべき 本人のための 在宅支援・施設選択の ポイントと対応

松宮良典 著

弁護士。介護支援専門員。大阪弁護士会、高齢者・障害者総合支援センター「ひまわり」運営委員、高齢者・障がい者施設の顧問・第三者委員などを務める。ホームヘルパー（訪問介護）の相談員、デイサービス（通所介護）の相談員、ケアマネジャー、総合高齢者福祉施設副施設長を経て、弁護士となる。

2023年6月 A5判 360頁 定価4,510円（本体4,100円） 978-4-8178-4882-6 商品番号：40950 略号：在施

在宅支援・施設選択のポイントから施設入所時の留意点まで！

専門職後見人等が本人の意思決定を支援し、その意思を実現するための対応のほか、本人の意思を尊重しながら在宅生活を支援する方法や、在宅が難しい場合の施設選択のポイント、施設入居契約書や施設の重大事故、虐待に対する留意点など、具体的な事例を基にしたポイントと留意点を解説。

介護事業所や介護施設に対するチェックポイントや改善・交渉のポイントがわかる！

介護・福祉の場面における本人の権利擁護の視点から、介護事業所や介護施設に対するチェックポイントや改善点、交渉方法についての助言・アドバイスも収録。

介護保険・サービスの知識をこの一冊に！

介護保険の利用手続から具体的な内容まで詳しく説明。実務で押えておくべき介護保険・サービスに関する通達や資料も収録。この一冊で専門職後見人等の職務と介護保険・サービスの両者がわかる。

はじめに

- 専門職後見人等の役割
- 専門職後見人等の役割を果たすための準備

第1章 介護保険制度について

- 介護保険法令について
- 介護保険を利用するまでの流れ
- 介護保険の居宅サービス利用料決定の流れについて
- サービス利用契約の法的性質
- 利用料と自己負担額の軽減について

第2章 自宅か施設かの選択

本人が望むなら基本的には自宅での生活を支える

- 基本的な考え方
- 具体的な事例について

第3章 居宅サービスの利用

- 在宅生活を支えるには信頼できるケアマネジャー選びが重要
- サービス内容（サービス提供事業者の債務の内容）の決まり方
- サービス利用開始時および緊急時の対応について
- サービス利用開始後のチェック
- 主な各種居宅サービスの特徴

第4章 各施設の特徴を理解する

- 各施設の比較
- 各施設について

第5章 施設入居の具体例

- 施設選択（良い施設の見分け方）
- 施設サービス選択の具体例

用語解説

- ・福祉関係者
- ・その他の用語

Point!

保険料を滞納すると、(医療費)のとおり、利用者にとてサービス利用が

困難になるのである。専門職後見人等としては保険料の滞

ナウである。専門職後見人等は就任時に家庭裁判所に提出

作成する際に、必ず年次通知書等を確認して介護保険

されていることを確認すべきである。滞納を早期に発

見または免除を検討すべきである。なお、境界届出者の

1 自宅か施設かの選択

(i) 家族が反対していたが、本人の意思を尊重して自宅での生活を継続したい例

(scene2)

下は、在宅生活を送っていた男性Bさん（75歳、妻介1、単身。妻とは別居し、子はない。新規の医療床）の補助人に就任した。Bさんは、週

1回毎に介護を利用し、2階建ての自宅の2階にベッドを置いて寝ていた（1階にベッドを置くペースが慣れていた）。

就任後間もなく、BさんからTに、次のような電話があった。

「今日は、娘のXが突然自宅に来て、「施設見学の予約をしたから今から

一緒に施設見学に行く」と言って、施設見学をさせられ、半ば強制的に

施設入居の申込書にサインさせられた。明日、施設職員が現と一緒に

自宅に来て荷物の整理等をすることになった。私は、施設後、長年住

み続けていたので死んでしまう。施設に入るつもりはない。預けてほし

い」とのことであった。なお、XはこれまでBさんに対して直接的には何の支援もしていない。事業所の緊急連絡先になっていたのみであった。

このようなとき、Bさんの補助人Tは、どのように対応すべきか。

Point!

専門職後見人等としては、本人の意思を尊重し、その意思を実現する上で、家族等を社会資源の一つとして活用する必要がある場合には、家族等

様々な場面における具体的な事例を豊富に収録！
職務遂行上の日常的に役立つアドバイスが満載！

